

■ 基調報告者



グレゴリー・チョウ (Gregory C. CHOW)

プリンストン大学名誉教授

シカゴ大学博士課程修了, Ph.D.。マサチューセッツ工科大学, コーネル大学, コロンビア大学, IBM トマス・J・ワトソン研究センターを経て, 1970年より教授。米中経済交流経済委員会主席, 米中経済教育研究委員会主席などの要職を歴任。これまで中国大陸と台湾の経済改革と経済政策にアドバイスし, 中国の多数の大学で名誉教授となる。山東省経済顧問, 中国国家自然科学基金のアドバイザーでもある。主な研究分野は, 計量経済学, ダイナミックエコノミクスと中国経済である。主な著書に *Analysis and Control of Dynamic Economic Systems* (John Wiley, 1975), *Understanding China's Economy* (World Scientific, 1994), *Dynamic Economics: Optimization by the Lagrange Method* (Oxford UP, 1997), *China's Economic Transformation* (Blackwell, 2002) などがある。

■ パネリスト



中兼和津次 (NAKAGANE, Katsuji)

青山学院大学国際政治経済学部教授

東京大学教養学部教養学科卒。経済学博士 (東京大学)。アジア経済研究所調査研究部研究員, 一橋大学助教授, 教授, 東京大学経済学部教授を経て, 2003年から現職。主な研究分野は中国を中心とする東アジア経済, 開発経済, 移行経済論。主な著書に『中国経済論——農工関係の政治経済学』(東京大学出版会, 1992), 『中国経済発展論』(有斐閣, 1999), 『シリーズ現代中国経済第1巻 経済発展と体制移行』(名古屋大学出版会, 2002) などがある。



ルー・ディン (LU Ding)

シンガポール国立大学経済学部準教授

ノースエストン大学博士課程修了, Ph.D.。ノースエストン大学東アジア研究所研究員, ビクトリア大学 (カナダ) アジア-太平洋センター, 復旦大学の研究員を歴任。主な研究分野は中国を含むアジア-太平洋地域の経済。主な著書に *Entrepreneurship in Suppressed Markets: China's Private Sector Experience* (New York: Garland, 1994), *State Intervention and Business in China: The Role of Preferential Policies* (UK: Edward Elgar, 1997), *China's Telecommunications Market: Entering a New Competitive Age* (UK: Edward Elgar, 2004) などがある。



エリック・ハーウィット (Eric HARWIT)

ハワイ大学アジア学部準教授

カリフォルニア大学バークレー校政治学専攻博士課程修了, Ph.D. (政治学)。中国で長期間の留学経験があり, 中国語, 日本語が堪能。主な研究分野は東アジア地域における経済とビジネスの発展とその歴史。最新の研究領域は, 中国大陸における農村と都市の通信事業とインターネットの発展。主な著書と論文に *China's Automobile Industry: Policies, Problems and Prospects* (M.E. Sharpe, Armonk, NY,

1995), The Impact of WTO Membership on China's Automobile Industry (*China Quarterly*, Fall, 2001), Shaping the Internet in China: Evolution of Political Control over Network Infrastructure and Content (*Asian Survey*, May-June, 2001) などがある。



周立群 (ZHOU Liqun)

南開大学経済学院院长・教授

南開大学博士課程修了，経済学博士。中国国家教育部経済学教育指導委員会委員，天津市体制改革研究会副会長など兼任。主な研究分野は，企業組織，市場構造，中国における経済学教育問題など。主な著書に『国有資産組織論』，『財産権的要素，結構與規則』，『中国中小企業改革與發展』，『中国経済学類專業教育教学改革與發展戰略研究』などがある。



関志雄 (KWAN Chi Hung)

独立行政法人経済産業研究所 首席研究員

香港中文大学経済学科卒，東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。香港上海銀行エコノミスト，野村総合研究所アジア調査室長を経て，2001年より現職。主な研究分野は，中国の経済改革，アジア地域における経済統合，円通貨圏。主な著書に『円圏の経済学』（日本経済新聞社，1995），『最新中国経済入門』（編著，東洋経済新報社，1998），『日本人のための中国経済再入門』（東洋経済新報社，2002）などがある。



川井伸一 (KAWAI, Shinichi)

愛知大学経営学部教授 [国際中国学研究センター委員]

東京大学大学院国際関係論博士課程修了。日本国際問題研究所研究員，在中国日本国大使館専門調査員，愛知大学経営学部助教授を経て，1995年より現職。主な研究分野は中国企業改革。主な著書に『中国企業とソ連モデル——一長制の指摘研究』（アジア政経学会，1991），『中国企業改革の研究』（中央経済社，1996），『中国上場企業——内部者支配のガバナンス』（創土社，2003）などがある。



高橋五郎 (TAKAHASHI, Goro)

愛知大学現代中国学部教授 [国際中国学研究センター委員]

愛知大学法経学部卒，千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。農学博士。宮崎産業経営大学経営学部教授を経て，1997年より現職。主な研究分野は中国社会調査論，中国農業経済論。主な著書に『世界食料の展望——21世紀の予測』（D. O. ミッシェル他著，農林統計協会，1998），『国際社会調査』（農林統計協会，2000）などがある。